



大阪赤十字病院より  
地域の先生方へ

2026年4月①

# News Letter

## 昇任医師のご紹介

令和8年4月より、清水 洋祐 医師が泌尿器科部長に昇任しました。

泌尿器科 部長

清水 洋祐



皆さま、こんにちは。大阪赤十字病院泌尿器科の清水洋祐と申します。

1995年に京都大学医学部を卒業後すぐに京都大学泌尿器科学教室に入局。浜松労災病院、北野病院、大津赤十字病院にて勤務のうち、2004年より京都大学泌尿器科大学院にて前立腺癌の研究に携わりました。2008年より京都大学医学部附属病院泌尿器科にて助教として勤務。2012年より西神戸医療センター泌尿器科にて医長として勤務。2023年より大阪赤十字病院泌尿器科にて副部長として勤務し、今回部長を拝命いたしました。

2000年より腹腔鏡手術を開始し、2014年よりロボット手術を開始し現在まで600余例の泌尿器科ロボット手術に携わって参りました。

専門は泌尿器科悪性腫瘍（ロボット手術・放射線治療・薬物治療）ですが、地域医療の拠点病院として緊急を要する感染性尿路疾患に対する治療や、尿路結石・前立腺肥大症などの良性疾患の手術に対しても積極的に対応させていただきます。

### 地域の先生方へ

いつも患者様のご紹介ありがとうございます。今後ますます高齢化が進み、血尿や排尿に関するトラブルを訴える患者様が増加するものと予想されます。当院泌尿器科では、男性不妊症や勃起障害や女性の尿失禁手術を除く、全ての成人泌尿器科疾患に対応してまいります。遠慮なく、なんなりとご相談していただくと幸いです。また緊急を要する感染性尿路疾患に対しては当院救命救急センターにて年中無休24時間体制で対応させていただきます。

### 資格・専門医等

- 日本泌尿器科学会認定泌尿器科専門医・指導医
- 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会泌尿器腹腔鏡技術認定医
- ロボット支援手術認定ダビンチプロクター（前立腺・腎・膀胱）
- 臨床研修指導医
- 緩和ケア研修会修了

### News Letterに関するお問い合わせ

 日本赤十字社 大阪赤十字病院

連絡先（地域医療連携室直通）

TEL:06-6774-5127

FAX:06-6774-5126

FAX予約受付時間 ※受信は24時間対応

平日 8:30~20:00

土曜日 8:30~13:00

祝日・年末年始(12/29~1/3)、創立記念日(5/1)は除く

News Letterでは、新任医師の紹介や診療体制、施設・設備に関する最新情報などをお届けします。



# 泌尿器科

—ロボット支援手術と集学的治療による高度泌尿器医療—

## 特色

**地域がん診療連携拠点病院として高度で低侵襲な医療を提供**

当院は国指定「地域がん診療連携拠点病院」として、前立腺がん・膀胱がん・腎がん・腎盂尿管がんなどの泌尿器悪性腫瘍に対し、安全性・根治性・機能温存を重視した高度医療を提供しています。手術支援ロボットをはじめとする最先端機器を活用した低侵襲手術を積極的に導入し、安定した症例数と経験に基づく安全性の高い手術体制を整えています。

また、分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬など最新の薬物療法を含めた集学的治療を実施し、症例ごとに十分な検討を行ったうえで最適な治療方針を決定しています。診断から治療、術後フォローアップまで複数医師体制で一貫して対応し、迅速な情報共有と丁寧なフィードバックにより地域の先生方との連携を大切にしています。

さらに、尿路感染症や尿路結石などの緊急疾患にも24時間365日体制で対応し、地域医療の中核として幅広い泌尿器疾患に対応しています。



◀2026年2月に最新の  
対外衝撃波結石破碎装置ESWLを導入

## ロボット支援手術体制の強化

**豊富な症例経験に基づく安全で精度の高い手術体制**

当科では手術支援ロボット（Da Vinci Xi）を2台体制で運用し、前立腺がん・膀胱がん・腎がん・腎盂尿管がんなど幅広い疾患に対応しています。安定した症例数と専任チームによる体制整備により、安全性の向上と手術精度の均質化を図っています。

また、ロボット手術を中心とした標準化された診療フローを構築し、術前評価から術後管理まで一貫した体制で対応しています。紹介患者さまの受け入れにも柔軟に対応し、待機期間の短縮と円滑な治療導入に努めています。

今後も低侵襲かつ根治性を重視した高度医療を推進し、地域の先生方と連携しながら質の高い泌尿器がん診療を提供してまいります。

## 主な診療分野

**豊富な手術実績と集学的治療体制**

### ●前立腺がん

PSA高値症例の精査から治療まで一貫対応。  
ロボット支援前立腺全摘術（RARP）を積極的に実施。  
RARP実績：380例

### ●膀胱がん

ロボット支援膀胱全摘術（RARC）および膀胱温存療法に対応。  
RARC実績：88例

### ●腎がん

ロボット支援腎部分切除術（RAPN）を中心に機能温存を重視。  
RAPN実績：137例

### ●腎盂・尿管がん

ロボット支援腎尿管全摘術（RANU）を導入。  
RANU実績：38例

### ●前立腺肥大症

HoLEP・TUEBなど低侵襲手術を実施。  
累計537例

### ●尿路結石

ESWLからfTUL、ECIRSまで重症例にも対応。  
ECIRS実績：75例

### ●腎盂尿管移行部狭窄症

ロボット支援腎盂形成術を実施。  
24例

### ●精巣がん

抗がん剤治療および外科治療を組み合わせた集学的治療に対応。  
※令和7年3月時点の症例数

